

国際選手権日本代表選考規定

2013年1月27日 施行
(日本気球連盟スポーツ規定より独立)
2014年1月26日 改正

第1章 目的

- 1-1 日本気球連盟は、国際選手権に派遣する日本代表選手を選考する。この規定で対象となる国際選手は国際航空連盟（以下「FAI」という）の定める以下の選手権とする。
- 1) 熱気球世界選手権
 - 2) a) 熱気球太平洋選手権
b) 熱気球ジュニア世界選手権
c) 熱気球女性世界選手権
 - 3) その他、日本気球連盟が指定する選手権もしくは大会

第2章 選考手順

- 2-1 選考は以下の手順で行われる。
- 1) スポーツ委員会は、当規定に基づき、代表パイロット選考審査（以下「選考審査」という）を行って代表選考順位を決定し、日本気球連盟理事会（以下「理事会」という）に答申する。
 - 2) 理事会は、スポーツ委員会の答申を審議のうえ決定する。
 - 3) この決定は、国際選手権開催予定日の少なくとも60日以前に行われる。
- 2-2 日本代表選手の選考を希望する日本気球連盟の会員は、スポーツ委員会に対して選考予定日までにその意思の表明を書面により行わなければならない。また、以下の条件を満たすこととする。
- 1) 国際選手権開催予定日より一年以前に、日本気球連盟の発行する熱気球操縦士技能証を取得し保持していること。
 - 2) 選考日において、熱気球操縦士技能証を取得後、機長として50時間以上の飛行経験を有することを証明できること。

第3章 選考基準

- 3-1 日本代表選手の選考は以下の基準でおこなわれる。
- 1) スポーツ委員会は、可能な限り最も新しい日本選手権順位とその前年の日本選手権順位に基づいて選考審査を行う。
 - 2) 選考審査は、原則として、対象とする国際選手権開催予定日の90日以前に行う。スポーツ委員会は、可能な限り早い時期に選考日程を日本気球連盟会員に告知しなければならない。
 - 3) 選考日までに、選考審査の行われる前年度および前々年度の日本選手権順位が決定され、また前年度、前々年度熱気球日本ランキング（以下「NRS」という）の順位が決まっている場合、選考審査は以下の方法で行われる。
 - a) 前年度1位、前々年度1位、前年度NRS1位、前々年度NRS1位、前年度2位、前々年度2位の順に、前年度と前々年度、前年度NRSと前々年度NRSの1位より交互に序列をつけて代表選考順位を決定する。
 - b) 前年度は前々年度に優先する。
 - c) 前年度と前々年度に同一パイロットが存在する場合、代表選考順位の高い方のみを採用する。
 - d) 日本代表選手の補欠は、ここで決定された代表選考順位により、上位から選出する。
 - 4) 選考日より前年度、前々年度の日本選手権もしくは日本ランキングの不成立が発生した場合、成立している日本選手権と日本ランキングの成績によって代表選考順位を決定する。

- 5) 選考審査の対象となる前年度および前々年度の日本選手権、NRS タスクが実施されなかった場合、スポーツ委員会が決定した方法で代表選考順位を決定する。
- 6) 上記による代表選考後、出場枠に余裕がある場合、その他の出場希望パイロットからも選考するものとし、スポーツ委員会が決定した方法で代表選考順位を決定する。

第 4 章 支援

4-1 スポーツ委員会は、大会役員、オブザーバーなどの資格で第 1 章に規定される海外での大会に参加する会員に対し、以下の支援を講じることができる。

- 1) 支援費として旅費の補助を与える。
- 2) この支援費は、参加大会終了後、スポーツ委員会に対して、参加大会に関するレポートを提出した後に与えられる。

附則

この規定は、2014 年 1 月 26 日より施行する。